

まちづくり通信 号外

冬のあったか縁日 2011

やさしさに包まれて つながるひろば

平成 23 年 12 月 10 日(土) 午後 1 時～午後 4 時/11 日(日) 午前 10 時～午後 4 時

会 場: 高山市役所/地下市民ホール/1F 市民ロビー/2F/3F/屋外/玄関前

主 催: 冬のあったか縁日実行委員会 TEL33-5282

事務局: 飛騨高山まちづくり本舗/高山市子育て支援課

めっちゃ楽しかった!

子どもが赤ちゃんの時から
毎年来ていま～す

看護学生や高校生、若者の
活躍にも誇りを感じました



3F ダンボール迷路

3/11 から9ヶ月、東日本大震災後、はじめて開催の「あったか縁日」でした。

前回まで、地元に住む人たちができることを持ち寄ってあたたかい空間を共有しようと、「地産地笑でつながるひろば」をテーマに開催してきました。

今回は、元気を出そう!とか、がんばらなくちゃ!とか、走り続けていなければならないような頑張る心を少しゆるめて、ここでは「ほんわかとやさしさで包み込むような空間をつくりあげてみよう!」のテーマのもと、市民団体や子育てサークル、学校、行政組織など 54 団体による 51 のプログラムが展開しました。

その中でも 15 グループは初参加、それぞれ子どもたちが楽しめるように工夫がこらされた新鮮な出し物に、会場のにぎわいは一段とアップしていました。

開場と同時に、好きなコーナーへ駆け寄って夢中であそぶ子どもたち、見守るにこやかな家族の姿は「あったか縁日」では見慣れた光景となりました。

7年目となった今回、会場に足を運んで下さったのは 2 日間で 4,572 人。これは初回の4倍にあたる市民が市役所に足を運ばれたということ。子ども大人もそれぞれの立場でいろいろな人たちとかかわり、つながり、たくさんの笑顔や元気に出会えた二日間となりました。



1F 西側ロビー あそびの広場

また、高校生や看護学生も含むイベントの下支えにかかわってくださったボランティアは総勢 100 人となりました。

ご来場者をはじめ、多くの皆様のご協力、まことにありがとうございました。

＝ 主な内容 ＝

ストリートダンス/チアダンス/英語劇/一輪車芸/三味線演奏/昔話語りバンド演奏/合唱/人形劇/手づくりおやつ紹介/あそびの広場/ダンボール迷路/ミニSL乗車/おもちゃ修理/クラフト体験/子育てワークショップ・相談会/手づくりおやつ試食/子ども・若者作品展示/バス&まちあるき/子育て支援団体活動紹介/お休み処・カフェ・駄菓子屋など

“冬のあったか縁日”とは、平成17年から始まった高山市役所がまるごとこどもの城となる子ども・子育てをテーマとした市民・民間・行政協働のまちづくりイベントです。

【参加団体一覧】 順不同 48 団体・グループ

- (1) bee Dance Studio
- (2) チア・ダンス
- (3) らぼぼの会
- (4) 城山児童センター 高山市社会福祉協議会
- (5) 坪内流美音之栄会 (NEW)
- (6) チームミナモ
- (7) 骨髄ボランティアの会 (再)
- (8) いろいろばた
- (9) プラナス
- (10) サウンドスケッチ (NEW)
- (11) COCON WINDS
- (12) サブニュマ高山 (NEW)
- (13) ウミワハハ (NEW)
- (14) SAIBAIS
- (15) 中山中学校
- (16) 劇団 ぴん・ぼん・ぱん (名称変更)
- (17) 炎のシェフ隊
- (18) アレルギーママの食品工房ままみい (NEW)
- (19) 市母子寡婦福祉会
- (20) 市職員互助会
- (21) 公立保育園保育士
- (22) 高山・子育てネットワーク
- (23) 学童保育 すまいる高山
- (24) NPO法人白川郷自然共生フォーラム (NEW)
- (25) 飛騨高山まちづくり本舗 (再)
- (26) 高山おもちゃ病院
- (27) オープンハウス 木の香
- (28) フルーツバスケット (NEW)
- (29) もちもちの会 (NEW)
- (30) ポパイランド (NEW)
- (31) スマイルファミリー (NEW)
- (32) スタートライン飛騨 (NEW)
- (33) 高山市子育て支援センター
- (34) 県助産師会飛騨支部 (NEW)
- (35) 高山市社会福祉協議会
- (36) 高山市商店街振興組合連合会 (NEW)
- (37) 病児保育室 プティそれいゆ
- (38) コーブぎふ おたがいさまひだ
- (39) ひだ音楽療法の会
- (40) 新日本婦人の会 赤ちゃん小組
- (41) 新日本婦人の会 親子リズム
- (42) でこぼこフレンズ (NEW)
- (43) Mama's café ほっこりん
- (44) 高山ゴキゲンフェスタ (NEW)
- (45) 子どもまちづくりコンクール実行委員会
- (46) 飛騨高山高校(岡本校舎)
- (47) 飛騨高山高校(山田校舎)
- (48) こころネット1、2の3

【スタッフ等協力団体一覧】

- (1) 飛騨高山高校岡本校舎 (重複)
- (2) 飛騨高山高校山田校舎 (重複)
- (3) JA岐阜厚生連看護専門学校
- (4) 高山市商店街振興組合連合会 (重複)
- (5) 国際ソロプチミスト高山
- (6) 楽器のDAN (音響)
- (7) スクラム企画 (看板)
- (8) まちひとがら座かにかこかん
- (9) 飛騨高山まちづくり本舗 (重複)
- (10) 高山市子育て支援課

参加団体数 全 54 団体(重複 4 団体含む)

ほくらはみんな生きている…あそぶ、あたたかくなる、つながる、 はじまる、笑う…おとな、笑う…子ども…



◆心ゆさぶる三味線の音色

ゆかた・子守り姿で 踊る子どもたち



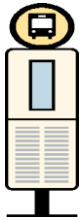
前列で演奏する若い奏者のみなさん。はっぴ姿に、ばちさばきもかっこ良く、その迫りに三味線を弾いてみたいというちびっこ三味線ファンも増えたことでしょう。



演奏にあわせて、ゆかた姿で踊る子どもたち。あったか縁日らしく、若い子どもたちの活躍の場が準備されていました。ちょっとした工夫を加えたこの場ならではの演出はとても微笑ましく、かわいらしく、子どもたちから目が離せませんでした。

◆ロビーにそそり建つ首里城

ステージ上を色鮮やかに飾ったのは、飛騨高山高校生の壁画作品。
510.00画素、約1800画素×280枚、14/1人の説明書きにびっくり!



◆まちなみバスに乗って& まちあるき

外は北風でしたが、市役所を飛びだして約100人の親子がサンタさんと一緒にバスで商店街へ。別院前で降り、安川・本町を散策し、お楽しみ企画が準備された店を巡りました。初めて乗るバスは思っていたよりコンパクト。親子連れでプレゼントを受け取りに専門店に入った家族。「こんなお店があるんだね、また来たいね」と、好評でした。



◆行列ができたミニSL乗車
白い煙を出して屋外を一周。いつも人の絶えない人気のスポットでした。



◆今、自分たちにできること 一日一日を大切に、今を精一杯生きること! “命のあさがお”を育てた協力校(小・中学校)から 報告と種の贈呈式

生きたくても生きることのできなかつた7才の光祐君の生きた証のあさがおの種を育て、できた種を次につなぐ活動を通し、命を考える機会となりました。次に託された種はこの夏も地面から元気に芽を出し、葉を茂らせ、空を見上げる花を咲かせるでしょう。

◆ひとつの応援のかたち

小さなハートが 大きなエネルギーに

放課後の学童保育教室で取り組まれた被災地の仮設へ送るハートマークビューイング。被災地の子どもたちに思いをはせて、飾って明るい気持ちになってもらえればと、子どもたちが仲間と共に取り組んだ時間の尊さ。ハートのマークは、シンプルで、あたたかいものですね。



◆米パンで アレルギー子を応援

アレルギーの子をもつ3人のお母さんが、色々な物を食べさせたいという試行錯誤の日々から生まれた米パンの試食がありました。市内に取扱店もあります。問合せ先は、0578-86-2165 食品工房ままみい(上宝)まで。



◆すてきな出会い=サブニューマ アフリカンドラムとダンスにドキドキ!!

土の香りのする太鼓の響きと踊りに引き込まれ、躍動感が市役所全体に充満しました。ここで多くの人たちと一緒に「あったか縁日」を開催できることに感謝でした。

※サブニューマとは西アフリカマリケ族のこぼ

あるステージで、語るように歌われました。「♪ほくらはみんな生きている、あそぶ、あたたかくなる、つながる、はじまる…」と。それは、あったか縁日で伝えたいことそのものでした。あったか縁日の願いは、世代を超えてつながって、ゆっくり豊かにこのまちで育っています。

発行: 飛騨高山まちづくり本舗 〒506-0845 高山市上二之町44-4 まちひとづら座かんかこかん

電話 & FAX 0577-33-5282 m-honpo@takayamashishouren.net

※かんかこかんHPより、まちづくり通信のバックナンバー(2004年～)をご覧くださいことができます。